

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部		部長 東郷 寛彦 次長 荻野 大	基本構想(総合戦略)の推進、未来を見据えた政策の企画	令和8年度を「2050年を見据えたり・デザインの端緒の年」ととらえ、リ・デザインの視点を入れ込むとともに、広域の視点や世界とのつながりを意識し、実施計画の改定だけでなく、次期基本構想の策定も見据えた議論を進めていく。		
総合 企画部		部長 東郷 寛彦 次長 荻野 大	主要プロジェクト等の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北の近江振興プロジェクトの横展開を視野に入れた深化と挑戦</li> <li>・県立高専の設置に向けた着実な取組の推進</li> <li>・県内14大学連携の推進</li> <li>・「世界とつながるグローバル滋賀」のさらなる推進</li> <li>・企業・大学との共創推進</li> <li>・新しい「CO ネットゼロ社会づくり推進計画」の推進</li> <li>・人権意識の高揚</li> <li>・滋賀県DX推進戦略の改訂に向けた議論の開始</li> <li>・EBPMの支援</li> </ul>		
総合 企画部	企画調整課	課長 辻 勝郎	基本構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会委員、県民等の意見を聞き、全庁的に議論し、適切な政策目標や指標等の設定を検討しながら、基本構想実施計画(第3期)を策定する。</li> <li>・策定過程においては、生成AI等の技術も活用して意見等を分析し、施策の方向性等に反映するとともに、現「基本構想」の次の姿(2030以降の想定や2050年を見据えた「リ・デザイン」)も意識した議論となるよう促していく。</li> <li>・将来を見据えた施策の構築および国等への提案・要望を実施する。</li> </ul>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	企画調整課	管理監 (広域政策・地方分権担当) 飯田 朋子  課長 辻 勝郎	関西広域連合・全国知事会をはじめとした広域連携の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県知事が広域連合長および全国知事会国民運動本部長を務めていることを踏まえ、庁内でその認識を共有し、広域的視点に立った施策構築を進めるとともに、本県施策の効果と効率性の向上を図る。</li> <li>・また、本県固有の課題にとどまらず、地方行政全体の発展に資する取組を積極的に提唱し、推進する。</li> <li>・さらに、広域的課題の解決に向け、他の都道府県との連携を強化する。</li> </ul>		
総合 企画部	企画調整課	課長 辻 勝郎	庁議のあり方の見直し検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な庁議の運営に向けた見直し</li> </ul>		
総合 企画部	特定プロジェクト推進室	室長 伊崎 直人 主席参事 吉野 謙一	北の近江振興プロジェクトの他地域への横展開を視野に入れた、取組の深化と新たな視点での事業展開への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内他地域への取組の横展開も念頭に置きながら、まずは北部地域での重点取組期間終了後に地域主体で発展的に継続していく仕組みづくりと北部3市および多様な主体との持続可能な連携体制の構築。</li> <li>・関係部局が「北部の課題を現地で考える」駐在職員を配置したところであり、北の近江振興事務所を核に各部局の知見を結集して取組の充実を図る。</li> <li>・アート等の新たな視点を活かした振興策に着手。</li> </ul>		
総合 企画部	特定プロジェクト推進室	室長 伊崎 直人 主席参事 吉野 謙一	多様な主体との連携・協働による事業を通じた関係人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とつながる人の増加、息の長い「関係人口」の創出に向けて取組を展開する。</li> <li>・当初設定した数値目標を令和7年度末で一定達成したことから、特に「関係人口」のさらなる創出に向けて目標を上方修正し、プロジェクトによる成果追求を目指す。</li> </ul> <p>【目標】 移住+地域とつながる人(関係人口) 3,000人(R5 - R9)</p> <p>【実績】 (令和8年3月18日現在) 合計 2,956人</p> <p>【上方修正】 5,000人(R8 - R9で2,000人の増加)</p>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	特定プロジェクト推進室	室長 伊崎 直人 主席参事 吉野 謙一	「新駅問題」残る課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同土地活用に引き続き取り組むとともに、後継プラン事業実績の取りまとめを実施。</li> <li>・後継プラン完了後に残る課題について確認の上対応。</li> </ul>		
総合 企画部	特定プロジェクト推進室	室長 伊崎 直人 主席参事 吉野 謙一	県有地の活用方策の検討および適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地開発公社から引き継いだ土地（保安林等）の有効活用を検討する。</li> <li>・所管する県有地の処分（売却）、利活用を推進する。</li> </ul>		
総合 企画部	高等教育振興課	管理監（高等教育振興課長事務取扱） 犬井 義夫	県立大学の魅力化の推進	<p>県立大学が県民や社会からの期待に応え、次の30年もその役割と責任を果たせるよう、法人が進める学部・学科再編に向けた取組を支援するとともに、県議会や県民への説明責任を果たす。</p> <p>魅力化推進を支える組織体制となるよう、法人理事長の人選や事務局組織・人員の構築を図る。</p>		
総合 企画部	高等教育振興課	管理監（高等教育振興課長事務取扱） 犬井 義夫	県立高専設置準備の推進	<p>公立大学法人滋賀県立大学高専開設準備局の取組を補完する。特に、同局と外部とのつなぎ役として、県議会・県民をはじめ、産業界、国機関、地元市、地元住民等への説明責任を果たす。</p> <p>開校後の持続的・安定的な運営に向けて、県からの運営費交付金のルールを構築する。</p>		
総合 企画部	高等教育振興課	管理監（高等教育振興課長事務取扱） 犬井 義夫	公立大学法人事務局とのより密接な連携に向けた仕組みづくり	<p>県と公立大学法人事務局が一体となって円滑に業務遂行できるよう、業務スケジュールや現在抱えている懸案事項等を共有する場の設定や各種資料の共有化等を図り、相互理解を促進する。</p>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	大学連携推進室	管理監(大学連携推進室長事務取扱) 中西 功	県内14大学のシーズと地域課題のマッチング	<p>県内大学へ積極的に訪問し、シーズや課題を捉え、庁内のニーズや地域の活力づくりや人材育成、新たな産業づくりの芽出しにつなげる。</p> <p>また、学生が在学中に地域課題に取り組むことで、地域への愛着を深め、本県を卒業後の就職先や居住地の選択先とすることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携研究プロジェクト事業の実施 3件</li> <li>・物価高騰対策大学連携プロジェクト補助の実施 3件</li> <li>・大学等連携共創支援事業補助の実施 12件</li> </ul>		
総合 企画部	大学連携推進室	管理監(大学連携推進室長事務取扱) 中西 功	大学連携の推進(特に小規模大学や専門人材育成大学の連携の促進)	<p>大学コンソーシアムの活用等により、理系人材の育成や地域連携など、県内14大学での連携を推進する。</p> <p>小規模大学等の課題を把握し、これら大学間の連携・対話を促す。</p>		
総合 企画部	大学連携推進室	管理監(大学連携推進室長事務取扱) 中西 功	大学や企業・地域等への積極的な交流	<p>大学や企業・地域等の交流機会を設けることで、地域の活力づくりや未来を担う人材育成、新たな産業づくりにつなげる。</p>		
総合 企画部	大学連携推進室	管理監(大学連携推進室長事務取扱) 中西 功	SDGsの推進	<p>こどもなBASEの事業の浸透(企業とこどもの満足度80%以上)と自走化を図るとともに、学術的な視点でこの事業の優位性を見いだす。</p>		
総合 企画部	国際課	課長 山本 直矢	「世界とつながる滋賀」のさらなる推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県が今後さらに世界とつながり、世界から選ばれるために、各部局が総合的かつ未来志向の国際関連施策を進めるための羅針盤として「(仮称)世界とつながる滋賀グローバル指針」を策定する。</li> <li>・姉妹友好州省をはじめとする、これまで交流を進めてきた諸外国との交流をさらに深化・発展させる。</li> </ul>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	国際課	課長 山本 直矢	すべての県民が共に生き、共に支え合う 多文化共生の滋賀づくり	・「県多文化共生推進プラン」に基づき、多文化共生への理解促進と意識高揚 を図るとともに、地域日本語教育の推進に取り組む。		
総合 企画部	国際課(旅券室)	課長 山本 直矢	県民の「世界とつながる」を下支えする 旅券発給	法改正等により旅券発給業務が多様化・複雑化する状況に適切に対応し、円 滑かつ過誤件数ゼロの旅券発給を堅持する。		
総合 企画部	国際課	課長 山本 直矢	オフィス環境の改善	ファイルサーバー内のデータを整理し、課員のアクセスを円滑化することで事務 効率化を図る。		
総合 企画部	県民活動生活課	課長 佐藤 勝也	滋賀県国土利用計画等の改定による 県土利用方針の明確化	・滋賀県国土利用計画と滋賀県土地利用基本計画を改定、一本化し、県土利 用の基本方針から土地利用の区分と利用調整の指針までを体系的に定めた、 滋賀県の土地に係る総合的な計画とすることで、県土利用に関する長期的ビ ジョンを示す。		
総合 企画部	県民活動生活課	課長 佐藤 勝也	犯罪抑止対策の推進	・自主防犯活動の支援を強化し、さらなる地域の防犯力向上を図る。 ・幅広い世代に向けて犯罪抑止対策を推進し被害防止を図る。		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	県民活動生活課	課長 佐藤 勝也	企業との共創推進	新たな連携項目の創出に向けた庁内の関係課と包括的連携協定締結企業との意見交換を定期的に行う場を設置し、県と企業との共創を積極的に推進する。 (既に協定を締結している企業(38社)のフォローアップ実施)		
総合 企画部	県民活動生活課	課長 佐藤 勝也	県史編さん事業の推進	・資料編(戦前)の刊行、情報発信事業の計画に沿った実施		
総合 企画部	CO2ネットゼロ推進課	課長 水嶋 周一	「滋賀県CO2ネットゼロ社会づくり推進計画」の推進	・昨年度に改定した「滋賀県CO2ネットゼロ社会づくり推進計画」において新たに設定した目標を達成するため、県が率先し、県民、事業者、関係団体等と連携しながら、取組を加速化する。 ・県の取組の効果を見える化し、その進捗状況をモニタリングすることにより、取組の改善を図る仕組みを構築するなど、排出削減を確実に進めていく。		
総合 企画部	CO2ネットゼロ推進課	課長 水嶋 周一	水素サプライチェーン構築を含めた産業集積地の脱炭素化の推進	産業団地規模での再エネ導入および脱炭素関連投資を促進するため、賛同企業と連携して構想を具体化 水素サプライチェーン構築に向け、次の取組を実施 需要: 水素吸蔵合金を用いた水素利活用モデルの実証 水素船の実証に向けたワーキンググループの組成 供給: 2次需要ハブのモデル案の検討		
総合 企画部	CO2ネットゼロ推進課	課長 水嶋 周一	中小企業の脱炭素経営支援の推進	・中小企業の効果的な支援のため、金融機関等と連携した企業支援チームを組成し、参画機関の支援メニューを一体的に発信 ・温室効果ガス排出量算定システム導入企業: 50社 ・中小企業版SBT認定取得: 5社		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	CO2ネットゼロ推進課	課長 水嶋 周一	脱炭素に資する新技術(ペロブスカイト太陽電池)の率先導入	<p>全国に先駆けて、現在想定されている設置場所である金属屋根に対するペロブスカイト太陽電池導入実証を終え、R9の量産開始に対応できる土壌を形成する。 (公共/民間施設に普及する屋根形状の県施設への導入:4施設)</p> <p>県内事業者の技術習得、将来の普及拡大を見据えた、県内施工事業者、需要家向け見学会の開催など、あらゆる機会を通じたPRの実施。</p>		
総合 企画部	人権施策推進課	管理監 田中 良平 課 長 中村 淳子	人権意識高揚のための啓発の充実	<p>・時代や社会情勢に応じた啓発の実施と庁内外への影響力の発揮 【重点施策】 多文化共生を軸とした共生社会づくり</p>		
総合 企画部	人権施策推進課	管理監 田中 良平 課 長 中村 淳子	人権に関する県民意識調査の円滑な実施	<p>・人権に関する県民意識調査の有効回収率 55%以上</p>		
総合 企画部	人権施策推進課	管理監 田中 良平 課 長 中村 淳子	会議等の効率化、ペーパーレス化	<p>主催会議における配布資料のペーパーレス化およびオンライン化 課内協議に占めるペーパーレスの実施比率 100% 設定時間(30~60分)以内での課内協議の実施率 80%</p>		
総合 企画部	DX推進課	課長 馬場 康宏	滋賀県DX推進戦略の改訂に向けた取組	<p>・令和9年度末の滋賀県DX推進戦略の改訂に向け、AIの社会実装を念頭においた社会のあるべき姿の検討と現在の取組の課題の洗い出しを行い、骨子案を作成する。</p>		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	DX推進課	課長 馬場 康宏	セキュリティの確保	・びわ湖情報ハイウェイ内におけるサイバー攻撃等による事務事業への重大影響および情報流出の発生件数年間0件		
総合 企画部	DX推進課	課長 馬場 康宏	手のひらスマート県庁の推進	・電子納付が可能な新規手続数60業務 (令和7年度実績 58業務)		
総合 企画部	DX推進課	課長 馬場 康宏	エリアデータ連携基盤推進ビジョンの推進	・令和9年度のエリアデータ連携基盤の共同利用に向け、市町等との合意形成を図るとともに、2件以上のユースケースの実現の道筋をつける。		
総合 企画部	DX推進課	課長 馬場 康宏	生成AIの全庁活用	・庁内での生成AIサービスの月間利用率を40%まで引き上げる。 (令和7年度3月実績 27%)		
総合 企画部	統計課	課長 辻 晴美	EBPMの支援	・「エビデンス活用ナビゲーション事業」等を通じたEBPMの伴走支援 4件 ・職員の統計リテラシーやデータ分析スキル向上のための研修の実施 受講者200人		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
総合 企画部	統計課	課長 辻 晴美	令和8年度に実施する周期調査の着実 な実施	・経済センサス 活動調査のオンライン回答率 55% ・令和8年社会生活基本調査のオンライン回答率 45%		
総合 企画部	統計課	課長 辻 晴美	課内連携の強化、事務の効率化	課員が一致協力して業務に取り組めるよう、係体制や業務分担の組み換えを 柔軟に行い、課内連携の強化や事務の効率化につなげる。		